

スモールミーティング「米国油脂事業の成長戦略」

・開催日時 2021年12月22日 15:00~16:00
・スピーカー CSO 信達 等



<主な Q&A>

Q. 今後、米国でのパーム油需要がどのように変化していくと想定しているのか

A. 米国南部での人口増による需要増加を見据え、Fuji Oil New Orleans（以下、FVN）を新設したが、足元のバイデン政権でのクリーンエネルギー政策が追い風になっていると考える。クリーンエネルギー政策によって、バイオディーゼル燃料向けに大豆油の需要拡大が見込まれていることから、従来食用に消費されていた植物性油脂における大豆油の構成比率の低下が予想されている。その補填の一部をパーム油が担うことが期待されており、需要増加を想定している。

Q. 今期稼働を開始した FVN の生産拡大の時間軸と、米州での植物性油脂事業と業務用チョコレート事業とのシナジーについて

A. 先ほどお答えしたように、大豆油からパーム油への需要置換も追い風となり、現在策定中の 3 年次の次期中計期間での FVN のフル操業が可能だと考えている。今期は、工場の起上げ費用が先行しているものの、今後の稼働率の上昇や、油脂の安定的な需要により、利益への貢献も進むとみている。また、今回、Oilseeds 社がグループに加わることにより、これまで販売網を有していなかったレストランなどのフードサービス市場に対するアプローチが可能となったことに大きく期待している。将来的には、この販売網を活用して油脂加工技術を用いた付加価値品の展開や、業務用チョコレートの販売拡大を進めていきたいと考えている。

米州での植物性油脂事業と業務用チョコレート事業のシナジーに関しては、油脂の技術を活用したコンパウンドチョコレートの拡大、また、チョコレートの原料であるカカオやパームのサステナブル調達の一環を進めることにより、サステナビリティへの期待にも応えていきたい。

Q. Oilseeds 社の特徴と収益の安定性について

A. Oilseeds 社の特徴としては、米油においては、高品質な米国産の原料を有し、米国でのシェアがトップ*であること。また、その他の油脂においては、高オレイン酸ヒマワリ油や紅花油の調達スキーム、委託先、販売力を有している。ボリュームは決して多くないが、ニッチでスペシャリティなポジショニングができており、安定的な収益を生み出していることが挙げられる。*Oilseeds 社の持分法適用会社において

以上